

# 平成24年度国立大学法人等施設整備予算案の概要

平成24年度予算(案)	915億円	(478億円増)
うち、一般会計	469億円	(32億円増)
うち、復興特別会計	446億円	(24予算から新設)
[他に、財政融資資金]	418億円	(5億円減)

※( )は対前年度比

## ■概要

国立大学法人等は、優れた人材の養成、独創的・先端的な学術研究、高度先進医療の推進等に不可欠な拠点であることから、「第3次国立大学法人等施設整備5か年計画」(平成23年8月26日文科科学大臣決定)に基づき、大学等の教育力・研究力を強化し、かつ、質の高い医療を提供するため、施設の重点的・計画的整備を支援する。

## ■整備内容

平成24年度予算(案)においては、各大学等の個性や特色を踏まえた魅力ある教育研究環境づくりに配慮しつつ、以下の施策について重点的に措置する。

- ・東日本大震災の発生により、重要性・緊急性が再認識された耐震化の加速  
(平成23年5月1日現在:87.9% → 平成24年度当初予算事業完了後見込み:90.5%)
- ・安全性・機能性に問題があり、計画的解消が不可欠な老朽施設(特にライフライン)の再生
- ・高度化・多様化する教育研究活動に対応し、国際競争力の強化にもつなげる最先端研究の基盤整備
- ・地域医療や災害時の救命救急医療の拠点となる附属病院の再開発整備

## ■実施予定事業

### <一般会計>

○新規事業:81事業(日本再生重点化措置を含む)

- ・安全対策・機能改善事業 48事業
- ・最先端研究施設の整備 13事業
- ・大学附属病院の再生 19事業
- ・PFI事業 1事業

○継続事業:59事業

### <復興特別会計>

○新規事業:90事業

- ・耐震対策事業 90事業

※ 実施予定事業の一覧は、文科科学省ホームページにおいて公表(12月24日掲載)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shisetu/kokuritu/yosan/1311705.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/kokuritu/yosan/1311705.htm)

文科科学省ホームページトップ > 教育 > 学校等の施設設備 > 国立大学法人等の施設整備 >

国立大学法人等施設整備関係予算 平成24年度 > 予算(案) 平成24年度国立大学法人等施設整備実施予定事業

平成23年度当初予算額  
861億円

平成24年度予算額(案)  
1,333億円

財政融資資金

423億円

新規事業 101億円  
継続事業 322億円

施設整備費補助金

437億円

新規事業 221億円  
継続事業等 216億円

財政融資資金

418億円

新規事業 48億円  
継続事業 370億円

施設整備費補助金

日本再生重点化措置 209億円  
(50事業)

469億円

(概算要求枠) 261億円  
(90事業)

新規事業 53億円 (31事業)  
継続事業等 208億円 (59事業)

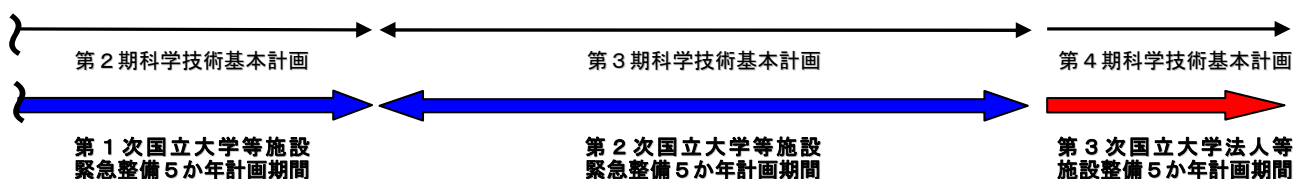
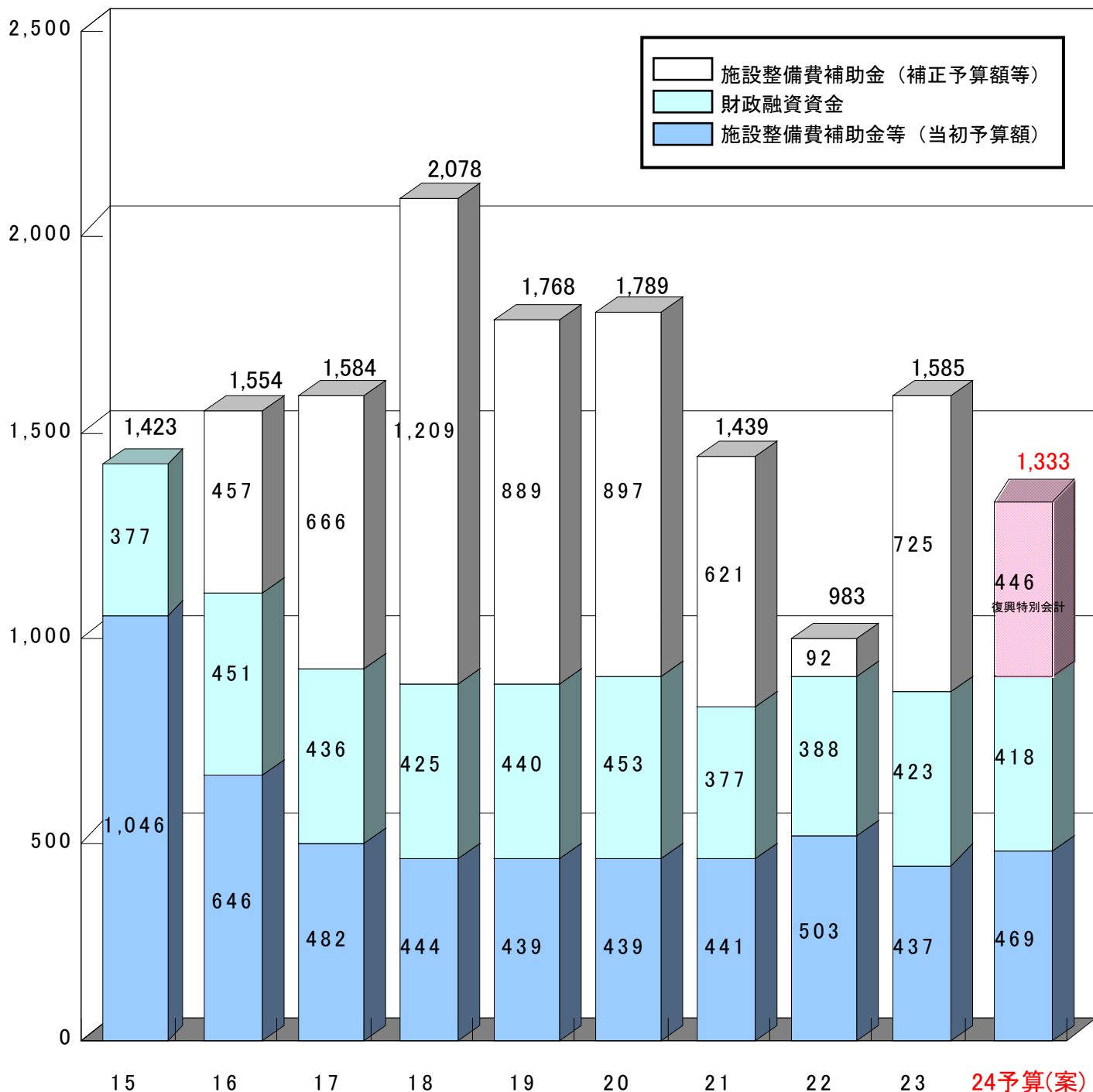
施設整備費補助金

復興特別会計 446億円  
(90事業)

※四捨五入により合計は一致しない。

# 平成24年度国立大学法人等施設整備予算額の推移

(単位：億円)



※1 平成16年度補正予算額は、新潟県中越地震等における災害復旧費(89億円)を含む。  
 ※2 平成22年度補正予算額は、経済危機対応・地域活性化予備費使用額(41億円)を含む。  
 ※3 平成23年度補正予算額は、東日本大震災における災害復旧費(375億円)を含む。  
 ※4 四捨五入のため合計は一致しない。

# 第3次国立大学法人等施設整備5か年計画(平成23~27年度)

平成23年8月26日 文部科学大臣決定

## 第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)

国は、重点的に整備すべき施設等に関する国立大学法人全体の施設整備計画を策定し、安定的、継続的な整備が可能となるよう支援の充実を図る。

### 基本的考え方

#### 3Sの一体的な推進

##### 質的向上への戦略的整備

###### —Strategy—

- ・卓越した教育研究拠点の形成
- ・個性や特色を発揮して教育研究を活性化する環境の整備
- ・先端医療・地域医療に対応した大学附属病院の計画的な整備

##### 地球環境に配慮した教育研究環境の実現

###### —Sustainability—

- ・省エネルギー等の推進
- ・老朽施設のエコ再生や再生可能エネルギーの導入推進

##### 安全な教育研究環境の確保

###### —Safety—

- ・建物の耐震化、非構造部材の耐震対策
- ・基幹設備(ライフライン)の改善

#### 長期的視点に立った整備の推進

##### キャンパスマスタープランの策定・充実

- ・キャンパス全体の整備計画の策定・充実

##### システム改革の推進

- ・施設マネジメント(既存施設の有効活用等)、多様な財源を活用した施設整備

### 重点整備

#### 老朽改善整備 (約400万㎡)

- ・防災機能強化、教育研究の基盤として相応しい質の確保
- ・建物の耐震化を計画期間内に完了
- ・安全性や機能面で問題のある基幹設備(ライフライン)の改善



#### 狭隘解消整備 (約80万㎡)

- ・卓越した教育研究拠点の整備
- ・高度化・多様化する教育研究活動に伴い必要なスペースの確保(若手研究者の増加、留学生の受入れ等)



#### 大学附属病院の再生 (約70万㎡)

- ・再開発整備の着実な実施
- ・最先端医療への対応
- ・災害時の救命救急医療の拠点としての整備



所要経費：約1兆1,000億円

### システム改革

#### システム改革の一層の推進

- ・施設マネジメントの推進
- ・多様な財源を活用した施設整備
- 適切な事業評価とフォローアップの実施

十分な機能をもった、質の高い、安全な教育研究環境の確保

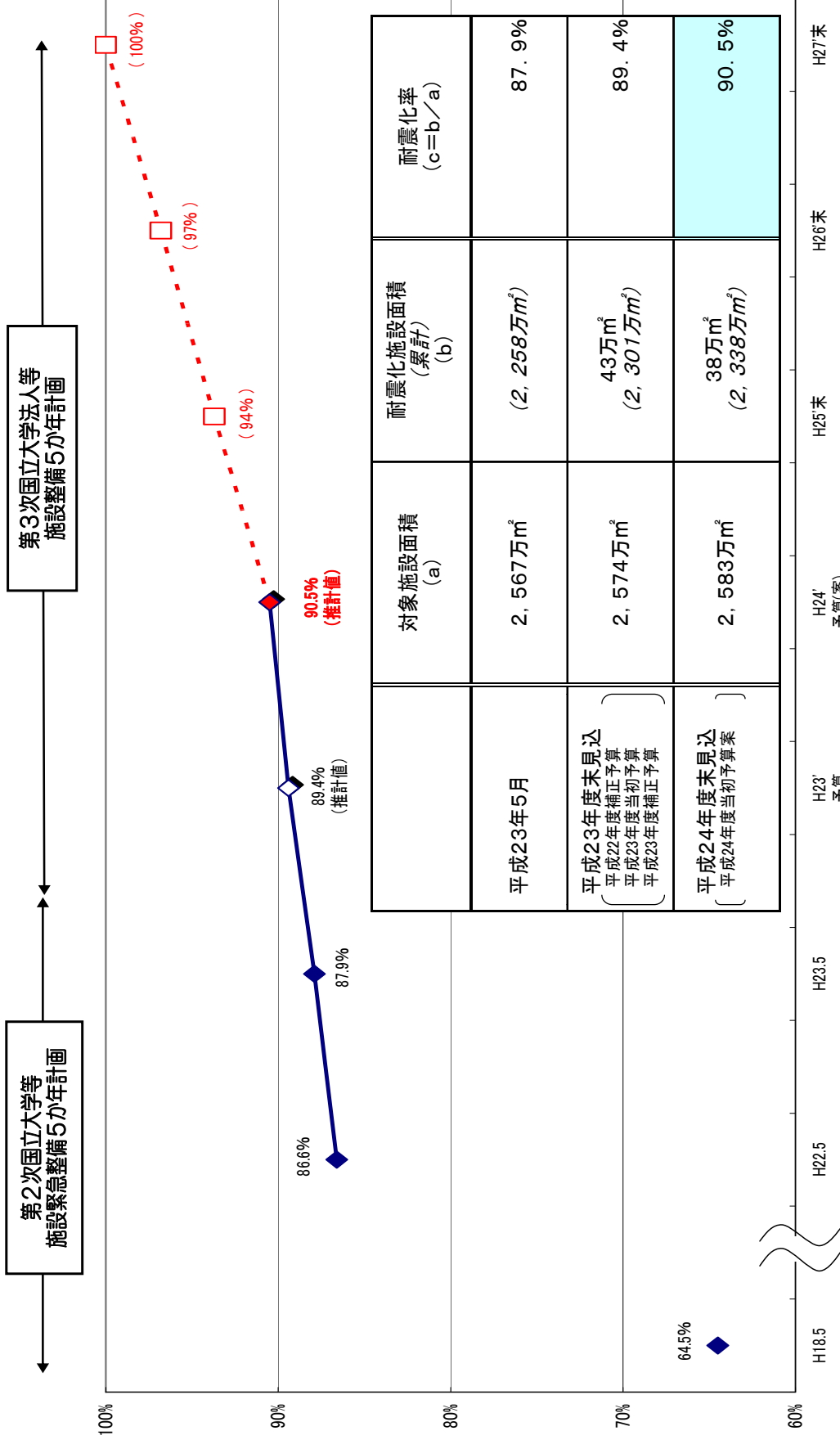
## 「第3次国立大学法人等施設整備5か年計画」の進捗状況

区 分	整 備 面 積				施設整備費
	老朽再生整備	狭隘解消整備	大学附属病院の再生	合 計	
整 備 目 標	400 万㎡	80 万㎡	70 万㎡	550 万㎡	1兆1,000億円
平成22年度 平 補 正	3.4万㎡	0.1万㎡	0.0万㎡	4万㎡	50億円
平成23年度 平 当 初	13.6万㎡	3.5万㎡	11.7万㎡	29万㎡	883億円
平成23年度 平 3 次 補 正	18.4万㎡	2.0万㎡	0.0万㎡	20万㎡	350億円
平成24年度 平 当 初 案	33.4万㎡	5.2万㎡	13.8万㎡	52万㎡	1,355億円
累 計	【17%】 68.8万㎡	【13%】 10.8万㎡	【37%】 25.6万㎡	【19%】 105万㎡	【24%】 2,638億円

注) 施設整備費欄は、施設整備費補助金(不動産購入費を除く)、財政融資資金及び施設費交付金の合計額。

注) 整備面積欄は、四捨五入により合計は必ずしも一致しない。

# 平成24年度予算案による国立大学法人等施設の耐震化見込



- ※1 第3次5か年計画における整備面積550万㎡(老朽:400万㎡、狭隘:80万㎡、病院:70万㎡)、平成27年度までに耐震化を完了(Is値0.4以下については平成24年度中に原則完了)
- ※2 グラフの赤線は、平成24年度末の耐震化率(推計値)に基づき平成27年度末に耐震化を完了する前提で各年度比例配分したものの推計値は、予算上の整備面積に基づき算出したものであり、整備状況により必ずしも実績とは一致しない可能性がある
- ※3 推計値は、予算上の整備面積に基づき算出したものであり、整備状況により必ずしも実績とは一致しない可能性がある
- ※4 1万㎡未満を四捨五入しているため、計数は必ずしも一致しない